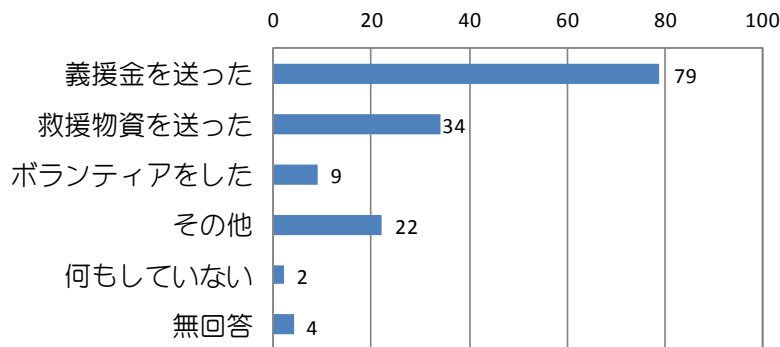


100人アンケート 第1回「義援金について」

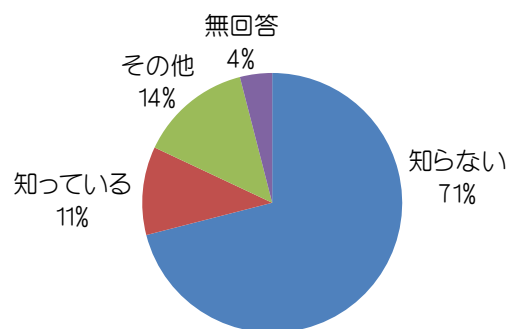
実施期間	2011年9月22日～30日
配布数	100
回答数	96
回答率	96.0%

Q1.東日本大震災の被災者の方に何か支援をしましたか？(複数回答)



【その他回答】募金をした、支援金付き物産を購入、現地NPOの活動に直接寄附、被災地支援のための店などで買物、支援活動をしている団体サポート、持ちアパートの空室を1年間無償提供、被災地応援の100人吹奏楽イベント出演(神奈川県藤沢市)、など

Q2.義援金がいつどこに被災者に配分されたかご存知ですか？



【その他回答】

- ・ 配分委員会のような組織が一回目の配分を決めたのは知っているが、それ以降は知らない。
- ・ 金額が決まって配分され始めたという報道を見たが詳細はわからない。
- ・ 宮城に送られたと思いますが、どの避難所にとどいたかはわかりません。
- ・ 情報入手先は報道がほとんどです。日赤のホームページは募金情報はわかりやすいですが、それと比較して配布状況についての情報は取得しにくい(分かりにくい)。
- ・ マスコミやメディアで発信される情報(義援金の分配について)と実際の被災地での状況とはギャップがある場合が多く、真偽が定かでないのでわからない。 など

Q3.義援金の配分時期・方法などについて、ご意見があれば、お書き下さい。

<回答者からの主な意見を挙げました>

- ・今回は3~4か所へ義援金を提供しましたが、どうなっているのかさっぱり理解していません。ただ集めるだけでなく配分先や効果の程を開示して頂きたいと思いました。
- ・今回はなかなか該当者に届かなかつたとニュースや被災地の方から伺いました。特に自宅で被災そのまま住んでいる方への配慮もなかったそうです。配分時期や方法は被災地の状況や範囲によっても異なるとは思いますが、2週間からひと月以内に第1次は配布した方が良いのではないかと思います。
- ・現場の自治体で、配分方法の混乱などのニュースを聞きました。システムの透明化とともに、迅速に適材適所に行き渡る対応を希望します。
- ・義援金の行方が分からないことで一時的な応援に終わってしまうことは支援側としても残念。もっと現実に即し、効果が具体的でわかりやすく方法を実践できる政府が必要。

◆まとめ

今回のアンケート結果から、多くの方が義援金の送付等の被災地支援を行なっていることがわかりました。一刻も早く被災者のもとに届けられ、役に立ててほしいと願っての募金だったと思われますが、今回の震災は規模も大きく、実態の把握や公正性の検討に時間がかかり、配分が遅れたと考えられます。

義援金の額や配分先等については、日本赤十字社のホームページ*などに細かく記載はされていますが、アンケートでは、ほとんどの人が「どのように被災地に届けられたか知らない」と答えており、「情報がなくて支援が一時的なもので終わってしまうことが残念」という意見も多くありました。

被災者支援に義援金を有効に役立てるためには、素早い配分と情報の開示が必要です。いつ何処でまた起こるかも知れない震災に対し、緊急時の物資等の配分システムの確立や情報の透明化等が求められます。また支援する側にも、何にどう使ってほしいかを考えて送金先を選択したり、その後の情報を確認するなどの姿勢も大切です。

*ご参考:日本赤十字社 http://www.jrc.or.jp/12/Vcms2_00002320.html

◆義援金等について

義援金は、赤十字社、中央共同募金、自治体、TV 局等が受け皿となって集め、寄付金の100%が被災者への見舞金等になります。被災者への配分は後日行われ、支援団体が行う緊急支援、復興支援には使われません。また、関わる人々の人件費や必要経費は税金等で賄われています。支援金は、現場で活動している災害支援 NPO/NGO に対する活動資金になります。

義援金詐欺に巻き込まれないよう、寄付をするときには、確かな団体を通じるか、直接、赤十字社や中央共同募金会、自治体等に送るようにしてください。また、振込口座が確かな団体の正規のものであることも確認してください。